

2023年度 事業計画

2023年度は、新型コロナウイルス感染症に対する政府方針が見直される中、引き続き新しい社会活動・生活様式を見据えながら、公益財団法人として広く公益に寄与する事業運営を行うべく、育英事業の適切、かつ円滑な推進を図るとともに、近年の教育費等の増嵩や厳しい資産運用の環境を踏まえて、事業基盤の一層の強化を図り、事業内容の充実・改善に努めます。

各事業の本年度計画は、以下のとおりです。

第1. 学資給与事業

この事業は、幼稚園・保育所・認定こども園、小学校、中学校、高等学校等、及び大学等の在園・在学生を対象として実施します。

本年度の給与額は、前年度と同様、幼児給与金については月額12,000円、小学生給与金については月額13,000円、中学生給与金については月額24,000円、高校生等給与金については月額30,000円、大学生等給与金については月額50,000円を給与します。

入学記念品の贈呈額は、小学校入学奨学生については70,000円、中学校入学奨学生については50,000円、高等学校等入学奨学生については50,000円、大学生等入学奨学生については150,000円を贈呈します。また、卒業記念品として、中学校卒業奨学生（高等学校等進学生を除く。）に対して70,000円を贈呈します。

これらの資金は、基本財産運用収入、修学助成寄附金収入をもって充当します。

(1) 幼稚園・保育園児

新入園奨学生	2人
在園奨学生	2人
新規奨学生（年度中途採用）	3人
計	7人

(2) 小学生

新入学奨学生	2人
在学奨学生	22人
新規奨学生（年度中途採用）	3人
計	27人

(3) 中学生

新入学奨学生	6人
在学奨学生	21人
新規奨学生（年度中途採用）	4人
計	31人

(4) 高校生等

新入学奨学生	17人
在学奨学生	29人
新規奨学生（年度中途採用）	5人
計	51人

(5) 大 学 生 等	
新入学奨学生	13 人
在学奨学生	33 人
新規奨学生（年度中途採用）	5 人
計	51 人
合 計 （1）～（5）	167 人

(6) 入学・卒業記念品	
小学校入学記念品	2 人
中学校入学記念品	6 人
高等学校等入学記念品	17 人
中学校卒業記念品	1 人
大学等入学記念品	13 人
計	39 人

第 2. 奨学生の選考等

奨学生願書の受付及び採用や、学資給与金等の送金は次のとおり行い、採用については奨学生選考委員会の選考を経て決定します。

項 目	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回
願書締切日	4月25日	7月15日	10月15日	1月15日
採用月日	4月1日	7月1日	10月1日	1月1日
送金日	5月25日	8月15日	11月15日	2月15日
送金対象月	4月・5月・6月分	7月・8月・9月分	10月・11月・12月分	1月・2月・3月分

第 3. 育英事業の推進に必要な事業

1. 募金活動

漁船海難遺児を励ます全国協議会及び同地方協議会等、J F グループ並びに水産業界等の協力を得ながら、関係先との連携強化を図り、引き続き募金活動に努めます。

2. 普及指導活動

(1) 「育英会だより」の発行

年 4 回発行し、遺児家庭を始め関係先に配布及びホームページに掲載します。

(2) 広報・募金イベントの実施

漁船海難遺児を励ます全国協議会及び地方協議会等の協力を得て、各種イベント会場等での募金活動を通じて、広く一般の方々に対する本会の育英支援事業の周知を図るとともにホームページを活用して情報発信の強化に努めます。

(3) 奨学生・保護者交流活動の実施

コロナ禍における行動制限等が緩和されたことから、開催10回目となる奨学生・保護者を対象とした交流活動（ふれあい旅行）を実施します。

3. 実態調査

中学・高校等及び大学等の新規卒業奨学生の進学・就職等に関する動向を把握するため進路調査等を実施し、今後の事業の基礎資料とします。

第4. 育英事業基盤の強化

基本財産については、引き続き有価証券運用規程に則り、各国の金融政策の動向等、経済情勢を注視しながら適切な運用を図るとともに、JFグループ並びに水産業界等の協力を得て募金活動を推進し、事業基盤の強化に努めます。

本年度の募金目標は、次のとおりです。

修学助成寄附金等募金目標額	53,500 千円
---------------	-----------